

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

「起こること全てに意味がある〜夢と希望〜」

市民講座第2講

みどり市市民講座第2講が12月19日(日)にグンエイホールにて開催されました。市民講座始まって以来の大規模となり、子どもから大人まで約250人の参加がありました。

講師は、笠懸町出身の株式会社インブライズ代表取締役の金子勇人さんです。金子さんはオルガンリスト



▲講師の金子氏

でもあり、電子オルガンコンクールで15歳のときと大学在学中に歴代最年少で2度、計3度の全国優勝を果たし、指導者としても、電子オルガンとピアノコンクールで門下生を3年連続全国優勝へ導き、全国最優秀指導者賞も受賞しています。現在は、音楽事業、冠婚葬祭スタッフサービス事業、金融教育事業を展開する一方、年間100回を超える講演も行っていきます。

テーマ『起こること全てに意味がある〜夢と希望〜』と題し、講演と演奏の2部で行われました。講演では、人生をどのように生きるかを金のお話を交えて話し、最後に、「自分の人生を生きたら、営業の本質を得ること、紹介される自分であること」とまとめました。

演奏は、デイズニーの曲などアンコールを含め全6曲披露されました。その中に、自身が電子オルガンを始めるきっかけとなった曲のことや、電子オルガンの解説もあり、演奏がより深まっていました。

会場内へ広がる音色は、参加者の心を惹き付け、夢の世界へと誘いました。終了後、大勢の方から感動の声が寄せられています。ある60代男性からは「講演と演奏に感動しました。世界的な第一人者と言われるように、働くことや人生の本質を見抜いているから講演に迫力があり、なるほどと思うことばかり。また、演奏も曲が表現したいテーマを深いところで理解して、それを身体全体で表現しているように感じました。それにしても両手、両足が、あんなに正確に動くものだと驚くばかりです」。

また、50代の男性からは「金融全般、特に金融リテラシーの話、お金は大切なもの、電子オルガンは圧巻でした。スピーチは滑らかでほんと良かったです。こんな若くて才能に溢れた人材が笠懸にいたなんて地元の誇りですね」と話していました。



▲多くの来場者でにぎわう

お母さんと一緒教室 第10回・第11回

クリスマス会準備

空気も冷たくなった12月3日(金)笠懸公民館和室で「お母さんと一緒教室」が行われました。

今回は第10回、クリスマス会に向けての準備です。

コロナ禍のため、窓は開け放たれていましたが、子どもたちは元気に、和室を走り回っていました。先生が順番に渡してくれたサンタのお顔がくると、お母さんのそばにちょこんと座り目や鼻やおひげをつけていました。サンタが持ち歩く赤い袋にお花紙を細くちぎり、ふんわりと膨らませれば、かわいいサンタのクリスマス飾りの出来上がりです。クリスマス会用の帽子には、ミッキーちゃんの黒く丸い耳をつけたり、ひいらぎの葉と花をつけたりして、クリスマスムードいっぱいになりました。

その後、英語の手遊びをして楽しい時間を過ごしました。次回のクリスマス会が楽しみです。

楽しかったね！ クリスマス会



▲みんなでカブを引っ張れ

第11回お母さんと一緒教室は12月17日(金)和室で「クリスマス会」を行いました。7組の親子は前回作ったクリスマス飾り付けから始めました。テーブルや座布団もみんなで用意し、子どもたちも進んでお手伝いできるようになりました。そして待ちに待ったクリ

スマス会の始まりです。「ジングルベル」や「あわてんぼうのサンタクロース」などを歌いながら、タンバリンや鈴を打ちならし大にぎわいです。ジュースで乾杯し、ケーキを親子で味わいました。「子どもにチョコやケーキを食べさせるのは初めてです」というお母さんもいました。根岸先生の「エプロンシアター「おおきなカブ」ではみんなでカブを引っ張ったり、手品を不思議そうに見たり、お母さんたちによる大型紙芝居の読み聞かせも楽しみました。遠くから鈴の音がするとサンタクロースが登場。みんなびっくりにしながらも大



▲サンタさんからプレゼント

喜び。プレゼントを手渡しされサンタクロースと一緒に写真を撮りました。「コロナ禍でなかなか外に出か
「岩宿の里米っこクラブ」では12月4日(土)に今年度の締めくくりとなる、しめ縄作りを行いました。初めに古代米の会会長から今年4月に始まった活動のスライドショーを観ながら苗床作り、田植え、稲刈りなどの作業、8月に咲いたお米の花や、会員の方々が普段から雑草取りをしてくれた話を聞き、参加者もお米を作る楽しみや大変さをふり返りました。その後は外に出たしめ縄作りをし、出来上がったしめ縄をもって記念撮影をしました。

しめ縄作りで締めくくる

岩宿の里米っこクラブ

「岩宿の里米っこクラブ」では12月4日(土)に今年度の締めくくりとなる、しめ縄作りを行いました。初めに古代米の会会長から今年4月に始まった活動のスライドショーを観ながら苗床作り、田植え、稲刈りなどの作業、8月に咲いたお米の花や、会員の方々が普段から雑草取りをしてくれた話を聞き、参加者もお米を作る楽しみや大変さをふり返りました。その後は外に出たしめ縄作りをし、出来上がったしめ縄をもって記念撮影をしました。

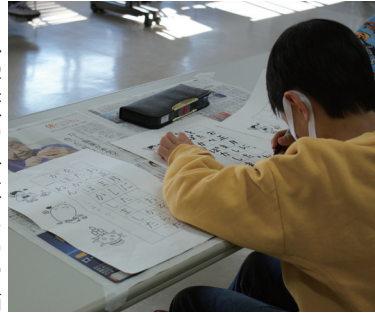


▲慣れない手つきでしめ縄作り

最後は毎回お楽しみのもので、SDGsにもつながる体験のできるこの企画は来年度も開催の予定です。

真剣に書き上げる

冬休み書道教室



▲一文字を丁寧に(ペン字)

小学校の冬休みの宿題といえは書き初めは今も昔も変わりません。笠懸公民館では小学生のための冬休み書道教室を12月25日(出)、26日(日)に開催しました。

書き初めは平安時代の宮中の年頭行事「古書始の式」が起源と言われ、当時は旧暦の元日未明に汲んだ水(若水)で二日に墨をすり、恵方の方角に向かい、中国の縁起の良い詩を書いたそうです。

それから時代は流れ、江戸時代の寺子屋で一般に広まった書き初めの習慣は、明治、大正、昭和、平成そして令和と五つの時代の学



▲集中してゆっくり(毛筆)

校教育に引き継がれました。さて当日、令和の寺子屋ならぬ公民館では、各学年の子どもたちがそれぞれの課題を持ち寄り、先生役の笠懸書道愛好会の皆さんにご指導していただきました。

1・2年生はペン字、3年生以上は毛筆です。上手に書けたのに文字が大きすぎて名前のスペースがなくなる子、文字の払いが勢いよすぎて自分の膝まで払ってしまう子、大人顔負けのきれいな姿勢で書いている子、皆それぞれ真剣に取り組みました。

すっかりデジタル化が進んだ令和の時代ですが、次の時代にも書き初めの習慣

は引き継いで行くことを願っています。

オンライン 書き初め教室の開催

笠懸公民館で初となるオンライン講座「オンライン書き初め教室」をYouTubeの笠懸公民館チャンネルで配信しました。

この講座は、「冬休み書道教室」がコロナ禍で定員が例年の半分になった代替として実施したものです。

講師は墨華書道研究会 同人 高野清霞さんです。講師には、半紙の折り方から始まり、文字の書き方のポイントを1文字ごとに説明してもらいました。解説をしながらお手本を書くという難しい作業でしたが、講師は初めての経験とおっしゃりながらも、分かりやすい説明と美しい文字をさらっと書いていただき、とても感心させられました。

一方、公民館職員は機器操作や撮影に慣れていないこともあり、撮影した映像が少しぶれてしまうなど、次に課題を残す結果となっ

てしまいました。

この講座の動画再生数は合計で約2200回になりました(令和4年1月12日

素敵なリースが完成 大人のクリスマスリース教室



「大人のクリスマスリース教室」が12月5日(日)笠懸公民館・美術工芸室にて開催され、20代から60代の12人が参加しました。講師は、

日本フラワーデザイン協会1級講師の根岸佳世さんです。

まず、土台となるリース台に、緑色が鮮やかなコニファー(針葉樹)を差し込んでいきました。そしてその上に、松ぼっくり、青く染められたバラ、ボールなどを各自好きな場所に飾り付けていきました。

受講者からは「すてき」「かわいい」の声が多く聞かれました。難しかったのは、リボンの結び方でした。受講者の多くが苦戦し、講師を困らせて複雑な結び方を習っていました。また、講

現在)。この動画を見てくれた子どもたちに少しでも書道の楽しさを伝えることができたらと思っています。

師の愉快な説明で、終始受講者の笑顔が絶えず、和気あいあいとした雰囲気でした。

最後は、パネルに出来上がったリースを掛け、少し離れた場所から自分のリースを見るのと同時に、他の受講者のリースも鑑賞しました。同じ材料を使用しているのに、それぞれの個性が出て、素敵なリースが完成しました。



▲リース作りに取り組む受講者

パソコンで作る年賀ハガキ展 パソコン愛好会・PC西鹿田・PCさくら

ふるさとギャラリーでは、12月1日(水)から7日(火)までパソコン愛好会・PC西鹿田・PCさくらの3サークルによる「パソコンで作る年賀ハガキ展」が開催されました。

会場には日頃培ったパソコン技術を使い、作成した今年の干支であるトラのイ

ラストや風景、家族写真などの個性豊かな年賀状が展示されました。休館やワクチン接種会場で使用していたため、久々に同場所での作品展となりました。

開催した3サークルの会員からは「昨年度は展示することができなかった。今回は作品展の開催までござ

着けて良かった」などの声が聞かれました。



▲手作りの年賀状が並ぶ

落ち葉掃除でスツキリ

婦人会クリーン作戦



▲大きな袋いっぱい

笠懸町婦人会(曲澤節会長)の行事も、この2年近くコロナ禍のため、ほとんど中止になってしまいましたが、今年も年3回、独自のクリーン作戦(公民館駐車場、パル周辺の落ち葉掃除)が行われました。第1回は、11月6日(出公民館東側、道路沿いの枯れ葉を集めました。沢山の枯れ葉掃除に汗を流していました。

第2回は公民館駐車場で、駐車場のまわりの木はきれいに枝が切られ落ち葉はほとんどありませんでしたが、会員たちは西側、東側の隅、パルの周りの吹きだまりにたまっていた落ち葉を集めながら掃除していました。

第3回は1月8日(土)に障子張りを行いました。

普段、お世話になっている公民館、利用者の皆さんが気持ちよく使えるように、婦人会員が今年も、クリーン作戦を頑張っていました。

環境問題を考える

環境保全ポスター展表彰式

令和3年度環境保全ポスター展表彰式が12月5日(日)笠懸公民館交流ホールで開催されました。

小学生、中学生の部合わせて307作品の応募の中から選ばれた入賞者と保護者40人が式典に参加しました。

入賞者には須藤市長から賞状が手渡されました。小学校低学年の子は緊張した面持ちで壇上上がったいましたが、しっかりとあいさつをして賞状を受け取っていました。

その後、須藤市長から「地球温暖化が進み、毎年全国各地で見ない災害が起きています。応募のあった作品には今の環境を変えていきたいという思いを感じられる」と講評がありました。

環境問題は世界的規模で考えなければなりません、私たちが身近で取り組める問題でもあります。これを機にそれぞれのご家庭で環

境問題について話し合う機会が生まれることを期待しています。

◎受賞者
小学生の部

最優秀賞 大間々北小学校
6年 藤澤 日陽さん



中学生の部

最優秀賞 笠懸中学校
2年 永井 華稟さん



人とのつながりかかわり合い

男女共同参画

みどり市男女共同参画啓発作品コンテストの表彰式および講演会が、12月5日(日)ブンエイホールパルで開催されました。

この事業は男女問わず、自分らしく生きるために男女共同参画の実現に向けて毎年行われているものです。

コンテストでは小学生高学年、中学生、一般の各部の9人が表彰されました。

式終了後、社会活動家の湯浅誠氏を迎え「つながりの中で生きるー貧困から考える男女共同参画」を演題に講演会が行われました。

湯浅氏は、人とのつながりかかわり合い、又地域の人たちとの交流の場としての「子ども食堂」について話しました。

- ・人に何かしてあげること
- ・自分が元気になる
- ・男女分け隔てなく、みんなの場所がある
- ・地域の人たちがかわり合う交流の場、それを社

を真ん中に置いた多世代交流の地域の居場所です)

●最優秀賞

・小学生高学年の部

主婦と主夫 協力プレーは

わが家のじまん

笠懸小6年 下山 夢乃

・中学生の部

認め合おう これからは

それぞれの「個性」が

大間々東中2年 輝く時代

・一般の部 竹澤 朱里

助け合い補いあつて

生きてゆく

男女共同参画社会

大間々町 志田 貴志生

防災を考える

⑭

罹災証明書

地震や豪雨、突風、竜巻、大雪などで被災した際、自宅の被害状況によって自治体に生活費や修繕費に充てる資金を申し込むことができるのですが、その時に必要なのが「罹災証明書」です。

その罹災証明書を提出する際、被害状況がわかる写真を出すことで認定されやすく支給額が増える場合もあります。

ヒビの入った壁、割れた窓、倒れた食器棚などの室内、床上、床下浸水など、すぐに片付けや修理を始めたとは思いますが、スマートフォンでもいいので現状を記録しておくことをお勧めします。

火災保険や災害保険に入っている方も有効かと思えます。突然の災害にパニックになってしまっても「一寸先は闇」ではなく、光もあると信じて備えましょう。

募集のお知らせ

一緒に活動してくれる仲間を募集しています。公民館活動に興味のある方はぜひお問い合わせください。

I 市民講座運営委員

1. 募集人数 20人
2. 活動内容 市民講座の企画・運営など。
3. 応募資格 みどり市在住・在勤で月1回程度の会議(主に夜間)や市民講座へ参加が可能な方

♪市民講座とは…

市民の皆さんの自由な学習・豊かな生活を支援するために毎年3～5回程度の講座を開催。

II 笠懸公民館報編集協力員

1. 募集人数 15人
2. 活動内容 「かさかけ公民館だより」の会議(企画・編集・校正)、取材・記事の執筆など
3. 応募資格 みどり市在住・在勤で毎月3回程度の会議への参加(主に夜間)や編集作業(取材・記事の執筆、校正など)が可能な方

♪かさかけ公民館だよりとは…

市民の声の広場として市民目線で笠懸の情報を毎月発信(笠懸地域全戸配布)しています。

◆ I・II 共通

1. 任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年間)
2. 応募方法 笠懸公民館へ直接申込ください(窓口・電話・Eメール等)
3. 必要事項 氏名・住所・連絡先など
4. 申込期限 令和4年3月25日(金)



DANCE COLLECTION

笠懸公民館や市内で活動するストリートダンスチーム
20組の華麗なステージ！ぜひご来場ください。

日時 3月20日(日)

午後1時30分開演(開場:午後1時)

会場 グンエイホール パル

入場 無料(要整理券)・自由席

整理券配布 2月27日(日)午前9時~

笠懸公民館

先着順(1人4枚まで)。なくなりしだい配布終了。

※配布時間 火~金曜日:9時~20時

土・日曜日:9~17時

月曜休館

新型コロナウイルス感染症対策

- ・入館時の検温・手指消毒
- ・マスクを着用ください(幼児は除く)。
- ・来場者連絡先確認票(氏名・住所・電話番号)の提出
- ・感染拡大状況により、変更または中止となる場合があります。

主催 みどり市笠懸公民館 主管 ダンスライブ実行委員会

コラム 豆電球



お寿司の食べ方の順序は？

祝い事や記念日にはお寿司はかかせない、なんていうシーンはよくあるが、このお寿司の食べ方の順序ってあるのだろうか。
好きなものを好きに食べればいいのだが、お寿司の食べ方の順序を知りたいものだ。味の薄いものから始

めて、味の濃いもの、脂っこいものは後、甘いものは最後のようだ。先に味の濃いものを食べると、淡泊な魚の味がわからなくなる。□の中が脂っこくなると、繊細な味が感じられなくなるからだ。また、濃い味と薄い味を交互にすると、味の印象がはつきりして、おいしく食べられるという。おススメは、白身の魚↓酢じめの魚↓あじ↓かつお

↓まぐろ↓いか↓貝類↓うに、いくら↓巻物↓煮物↓たまごという順だ。とはいえ、うに、まぐろなどは、いいものなら脂っこさは残らず、おいしい印象を残すので、どこで食べてもいいようだ。巻物は、海苔の香りを楽しみたいので、あつさりしたネタのあとから食べ、たまごは最後でやわらかな余韻を残すのがおススメのようだ。

こえのひろば

投稿

屋敷祭りの思い出

武テル子

ふと新聞の日付を見ると、12月15日でした。その日は「屋敷祭り」の日であり、昔の遠い思い出がよみがえりました。

昔はどの家でも、屋敷神様のお宮が母屋の北西に奉られており、一家を守ってくれる守り神様として、イワシや油揚げなどを供え、祭りの日でもなくとも日々お参りしていたものです。

ただ、一年の中で、12月15日は年に一度の「屋敷祭り」の日です。各家庭では赤飯や煮物をつくり、自分

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

の家の屋敷神様に、なぜか暗くなつてからお参りしました。そのときに、重箱に赤飯を詰め、それにイワシ二匹を持って、父の後を子どもたちが並んで付いていきました。持っていた赤飯やイワシを屋敷神様に供え、無病息災を祈りました。供えたイワシは、家の者が気づかないうちに他の家の人が下げてくれると、縁起が良いと言われていました。供えて余った赤飯は、子どもたちが銘々に出した手に配られ、そのことを「オテノコブ」と言いました。薄暗い屋敷神様の前で食べた赤飯がすごく美味しかったこと、いまだに忘れることができない思い出として、目に浮かびます。

【訂正とお詫び】

「かさかけ公民館だより172号」において、4面で紹介した非行防止標語展最優秀賞の村田悠真さんの作品に誤りがありました。正しくは、「一人じゃない！あなたは家族のたから物」です。ご迷惑をおかけしました。

上毛かるた⑤

御朱印レディー

「碓氷峠の関所跡」の群馬県と長野県の県境に神社があるのはご存じですか。

場所は、碓氷峠の頂上（碓氷峠を登り軽井沢に着いたら更にもう少し山を登る）に位置し、鳥居と本宮のちよつど真ん中に県境があります。群馬県側は、碓氷峠熊野神社、長野県側は熊野皇大神社です。本宮には群馬県側と長野県側の両方に賽銭箱があります。

※御祭神

新宮 速玉男命

（心の健康の守護神）

上州群馬県鎮座

本宮 伊邪那美命

（諸神の産みの神・祖先神）

日本武尊

（本神社の創設者）

那智宮 事解男命

（人生の難題解決の神）

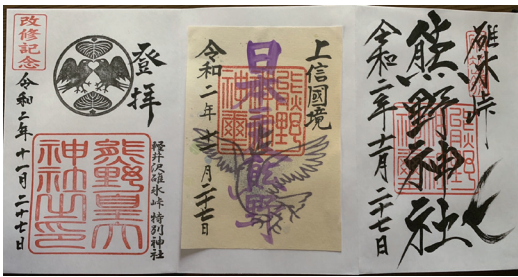
信州長野県鎮座

御朱印は、それぞれの社務所で頂けます。

長野県側の熊野皇大神社には、軽井沢、碓氷峠しな



▲しなの木神社の立体御朱印



▲左から「熊野皇大神社(通常)」 「碓氷峠熊野神社(特別)」 「碓氷峠熊野神社(通常)」の御朱印

で、かなり寒かったです。その御朱印を手にした時、とても繊細な造りで、飛び出す絵本を見ている様でした。造り手の気持ちが伝わってくる素晴らしい御朱印でした。

テクテクお城歩き(24)

美濃金山城 歩遊人

岐阜県内にある続日本100城は、美濃金山城、郡上八幡城、大垣城、苗木城の4城です。美濃金山城は可児市兼山にある山城で、資料によれば1537

年、美濃の守護代一族である斎藤妙春が築城した烏峰城が始まりです。1548年、斎藤妙春が謀殺され長井道利が城主となりましたが、織田信長が美濃を支配したのに伴い、信長の家臣森氏が1565年城主となり、城の名を金山城に改称したようです。1600年、城は石川氏の預りとなり、翌年に建物は解体され犬山城の改修に使われたようです。織田信長の小姓だった森蘭丸も城主をつとめていたとのこと。城の中腹にある「蘭丸ふるさとの森公園」から本丸まで歩いて

約20分。三の丸、二の丸の破壊された石垣を見ながら樹形虎口を抜ければ曲輪群の上に本丸があります。麓に可児市戦国山城ミュージアムがありますので立ち寄ることをお勧めします。



▲美濃金山城 本丸を望む

笠懸短歌サークル

十二月例会より



衝撃の事故己が身に振り掛かり驚きの中記憶をたどる
 やや高き血圧なればかかり医にくすり処方され気分落ちつく
 今年また茄子を作ると堆肥入れ深耕なせりちよつと一服
 朝に見るドラマ昭和を映したり吾は幼く「ギブミーチョコレート」
 ひとりごとと言ひつつ暮の墓そうじ少し風吹く午前に済ます
 三角巾にただ吊るさるる左手の功をいまさら思ひ知らさる
 左側通行なれど許されよ温き日当たりえらび歩むを

上村 征子
 上山 利夫
 橘内 文夫
 久保田茂子
 近藤ふさ子
 関口 定夫
 平山 勇

四季の会 十一月句会



ぶるぶると朝の眠気を初水
 バスを待つ母にかかりし朝時雨
 小春日や洗濯物もあと少し
 病院の窓より見ゆる冬火花
 文庫本ひろがる真夜の時雨寒
 夫のふとん掛けなほし行く厠かな
 裂き織りの布さく妻や返り花
 手術後のかひなの痛み冬の朝
 妻の意に添へぬ男や枯木立
 小鳥来る庭を眺めて茶の時間
 セーターを羽織りて夜の稽古場へ
 館組みえびす祭りの社掃く
 子等三人スケートリンクへ連れゆかむ
 小春日や愛猫逝きし雲の果て
 大粒の落葉を掃きし伴僧坊
 転院の姉と一泊冬湯治
 梵鐘の音に顔あり冬の寺
 神木に御神酒を上げる神の留守
 朝しぐれ仏に供ふ一番茶
 冬紅葉だんだん少なくなりけり
 どぶろくの味見は夫に任せをり
 熱燗を独りで啜る妻の留守
 小春日や庭に出で立つ父元氣
 石の鉢石路の一株咲きにけり
 飛石に山茶花こぼる庵かな
 冬の風向かふ万歩の厳しけり
 風に舞ふ寺の落葉や寺の街
 雲のいろ変はる山間枯木立
 湖はまだ明けやらぬ冬の霧
 冬桜母と暮らした三十年
 廃鉢の枯木の山や吾が郷里
 気短かなをなごの眉間むら時雨
 冬桜咲ひて母の忌知らせをり

中谷 幸寿
 佐藤由美香
 高野 春蝶
 窪田 友美
 金井 英磨
 高野 光詢
 糸井 佳酔
 家住 紫香
 窪田 劍邦
 前原 紫蘭
 中谷 邦女
 童 鳥海
 小此木和音
 糸井 梅光
 韓 百日紅
 新羅 光海
 石原 青蓮
 冠 二郎
 横倉 雅
 徳田 夕子
 糸井 初音
 川岸 星漢
 小林 狐一
 吉田 和義
 小林 華笑
 金井 光順
 緒沢 春蘭
 村田 紅蘭
 宇野由希子
 平川 秋桜
 村田 小町
 宇野 勘大
 金 光月

列車にゆられて (47)

岳南電車

野利 哲

岳南電車は旧社名を岳南
 鉄道といっています。2013
 年3月、貨物輸送廃止によ
 り経営難に陥り、鉄道部門
 を分社化して岳南電車とし
 て新たに出発しました。静
 岡県の富士市内を走る岳南
 電車は東海道線吉原駅を
 起点に岳南江尾駅まで9.
 2kmを約21分で結んでいま
 す。全線単線で駅は10駅(起
 終点駅含む)あり、各駅の
 ホームには富士山ビュース
 ポットの案内表示があり、
 立つてみると美しい富士山
 を見ることが出来ます(私



▲機関車と富士山

が訪ねたときはあいにく雲
 に覆われ見ることは出来ま
 せんでした)。吉原駅を出
 た列車は西に向かい、右に
 大きくカーブをして工場地
 帯を縫うように走ります。
 貨物輸送をしていた名残り
 なのか駅構内が広い駅や副
 本線のある駅がありまし
 た。駅間距離で一番短い区
 間は吉原本町駅〜本吉原駅
 で僅か300mしかありま
 せん。岳南富士岡駅には検
 修庫があり構内には貨物輸
 送で使われていた電気機関
 車が保存・展示され「かく
 てつ機関車ひろば」と命名
 され、多くの鉄道ファンが
 訪れていました。車両はE
 D501、ED291、E
 D402、ED403の4
 両でした。

また、鉄道として「日本
 夜景遺産」に認定され、夜
 間、工場地帯を走る夜景電
 車は風情があるようで鉄道
 ファンの間で話題となつて
 います。

運賃は吉原駅〜岳南江尾
 駅 片道370円、フリー
 キップは720円

ちょっと一息



戦後間もない頃に作られ
 た上毛かるたの読み札には
 二枚だけ赤い札があります。
 一枚はいろはではじまる最
 初の「い」の札で、戦後日
 本を復興させる活力を群馬
 から発信したいという、製
 作者たちの思いが込められ
 ているそうです。

そして、もう一枚「ら」の
 札にも製作者たちの思いが
 込められています。

戦後、GHQにより学校
 での地理・歴史の授業が停
 止されていた頃、子どもた
 ちに群馬の歴史と文化を伝
 えたいという製作者たちの
 思いから上毛かるたは作ら
 れました。

しかし、製作にあたり、G
 HQからの命令で高山彦九
 郎、国定忠次、小栗上野介の
 札は、除外せざるを得ませ
 んでした。それでも諦めされ
 ない製作者たちは、群馬の
 風土とその気質「義理人情」
 で彼らをまとめ、読み札を
 赤く染めることで、その無
 念の思いを込めたそうです。
 現在も上毛かるたを購入
 して箱を開けると「い」と
 「ら」の札が一番上に並んで
 入っています。

「雷と空風 義理人情」の
 群馬県。今日もからつ風が
 吹き荒れます。

空風一郎